

■ 高見島散策 夏の日の思い出 / 西山市郎 2007年8月5日

高見島といえば、何を思い浮かべますか？

高見島について知っていることありますか？

「夏草や^{つわもの}兵どもが夢の跡」という松尾芭蕉の句を思い浮かべてしまいそうな今は夏、かつて「銀座通り」とまでいわれていた一番人通りの多かった道や空家・空地は草で覆われています。



今回、加子^{かこ}（水夫）の島として長い歴史をもつ高見島の歴史と民俗をひとかじりしながら散策してみたいと思います・・・・・・・・

特に高見島浦の家並は江戸前期に旧浦集落が大火にあい、その当時の人名^{にんみょう}が中心になって石垣を築き計画的に造成して家建てたもので、島の人々の思いがこの石積みに伝えられてきているのです。

1. 次の場所を地図上で確認して下さい。（記念に写真を！）

①浦の氏神 六所大明神宮（六社神社）の跡

棟札に太閤 豊臣秀吉の朝鮮出兵の頃の年号

浜に氏神の八幡神社・旧浦集落の方に高見島の産土神^{うぶすなのかみ}の古宮（本宮）もある。

②満濃池の井戸（宮の井戸）

③映画『機関車先生』では網元の家だったアメリカ帰りの人の家



④テレビの「田舎に泊まろう！」で新井康弘が泊まった家

⑤映画『瀬戸内少年野球団』で夏目雅子が高見島に来ています。彼女が立っていた「ヨツカド・ヨツカイドウ」

⑥ナコチの家（船板の廃材を腰板に使用した家）

「日向屋の北前船」「お婆さんとカボソの話」※^{あつ}あつが



婆さんに食べ物運んでくれた話が伝わる。戦時中くらいまで高見島にカウがいたという。

- ⑦太平洋を漂流し、アメリカのジャバ・アロー号に救助され ^{サンフランシスコ} 桑 港 に渡った
第三大信丸の中谷船長の家（無線の必要性を語った人）

- ⑧映画『男はつらいよ 寅次郎の縁談』で

寅さんと松坂慶子が出逢った ^{せたつば} 制立場

- ⑨五郎入道（岡崎正宗）銘の刀があった・・・
という話があるヒチロイ（七郎尉）



- ⑩幕府オランダ留学生（15人）の内の一人だった山下岩吉が晩年を過した家
（生家と墓石も残っています）

- ⑪『地に満つる愛』（多度津町の作家 竹田敏彦著）の主人公のモデルとなった
農業普及員の生家

- ⑫弘法大師開基の寺と伝えられている ^{だいしょうじ} 大聖寺

西郷隆盛と勤皇僧月照（月照・信海の母は高見島の寺の下の豆腐
屋の娘だったお久、父は住職だった専海）

力士像の門・阿弥陀堂・太子堂と塩飽大工・盆の ^{ナムデオド} 南無陀踊り

- ⑬九州の平戸から五島列島へ捕鯨（加子として）に行っていた家

古文書の往来手形の一つに（庄川）「五平次船」

※島には川がないのに前川・西川・庄川・北川・長谷川姓の家

- ⑭ドノエ（頭之上）の祇園社

近くに梅沢富美男が立ち寄った家もあります。

- ⑮ ^{いちみこ} 市巫女の家（^{みこがみ} 御子神と ^{おんざき} 御碕大明神を祀る家）

海に見える家

旧浦集落大火伝承・弘法大師伝説「片葉の葦」・太閤の腰掛岩伝説が伝わる。

咸臨丸子孫の会の勝海舟・榎本武揚らの子孫と、『^{サンフランシスコ} 桑 港 にて』

（咸臨丸水夫の高見島の吉松が主人公）を書いた ^{みどり} 植松三十里さんが
立ち寄った。



- ⑯昭和 50 年に高見島インセキが落下した場所が見られる「トイシの坂の上」



